

イリノイ大学キャンパスより

古 畑 和 孝

古畑非常勤講師はイリノイ大学大学院よりフェローシップをうけて、去る8月渡米され現在同大学で研究中である。このたび星野助教授あてにその模様について便りを寄せられたので、同助教授および古畑夫人の諒承を得て次に紹介する。

編集委員

11月24日付（前文略）

すっかりごぶさた申し上げました。お変わりなくお過ごしのことと思います。私が行ってからも、ICUは益々充実してきて、立派な図書館も完成し、本館前もきれいになった由、湯浅先生からのお便りで伺いました。さて、私の近況をご報告申し上げます。

8月に3四週間ハワイのホノルルでオリエンテーションを受けたあと、ここイリノイ大学にきてから、早くも70何日かが経過しました。もう雪が一度降り、これからはきっと寒さも本格的になってくることでしょう。住んでいるのは、9月に出来たばかりの7階建の大学院寮の1階、個室です。すぐ横に3階建の女子大学院寮があり、ラウンジなどは共通です。食事は、寮から歩いて5分くらいのところにあるイライナイユニオンという大きな学生会館の地下のキャフェ・テリアでしています。それ故、目下学費と食費が高くかかって困るので、できれば、下宿をみつけてそのうち引越そうかしらんとも思っています。勉強の方は、予想以上に忙しい毎日です。私は400台というアドヴァンストコースだけをとったところ、アメリカ人学生でさえ、300台に一つか二つ400台をまぜてとるのが普通の由で、そのため極度に忙しくなっています。アサインメントが多いので、教室、図書館、ユニオン寮だけを行ききしているうちに日が経っていくみたいです。

Ausubel 教授は自身の *Theory and Problems of Child Development* を、テキストに使ってやっていますが、このミッド・セメスターに、早くも、あのほう大な本の半分（9章迄）を試験しました。ピリッカスを覚悟していたところ、

真中辺だったので、これでアメリカの試験のしかた、問題の出し方、などの見当が
つきましたから、ファイナルでは、ウンといい成績をとるつもりです。Steiner:
Advanced Social Psychology も、やたらに論文を読まされます。しかし、ここで
は与えられるものが多く、自主的な研究ということになると、その時間がありません
から、却って問題もあるような気がします。統計は、プロバビリティからはじまっ
て早くも、マルチプル・コレレーションの問題など、驚くべき速さで進んでいま
す。英語はちっとも上達せずに閉口です。外人学生用の英語もとらされていますが
(週3回6時間)、その中でもプアレストスピーカーです。然し、試験は通算すれば
トップの筈です。南米からきた連中など、ペラペラしゃべるくせに、試験はEとか
Fですからおかしいです。私はB以下は殆どとったためしがありません。(与えら
れたものについての作文の試験が主です、しょっ中 小試験があり、時々中試験(2
時間)があります。

ICU関係の人とは、この間、元井上和子さん(福本夫人)によばれて、昼食を
ともにしました。水上さん夫妻からも招待されましたが、同じ時刻にアメリカの家
庭に先に招かれていたのでお断りし、まだお会いしていません。永井先生には一度
道端でお会したきりです。大学院で、ネイティブ・スピーカーと対等にコンペティ
ションをするのは、大変ですが、一番よい経験になるような気もいたします。IC
Uの先生をしておられたクライナーという方は交通事故で、なくなられた由です。
ICUファウンデーションからの連絡で、当地でICUに関心のある先生や牧師な
どがたずねて下さったり、招いて下さったりもしました。

昨22日に最後の試験も終り、今日からはサンクスギビングの休みに入り、寮
は急に閑散となりました。旅行をしたいところですが、私はターム・ペーパーの準
備をする予定です。

遥かにご健康を祈り上げます。